

(様式1)

令和5年 月 日

木構造振興（株） 代表取締役 山田 壽夫 殿  
（公財）日本住宅・木材技術センター 理事長 古久保 英嗣 殿

中大木造建築普及加速化プロジェクト事業 提案申請書

プロジェクト名

○○○○○○○○プロジェクト

提案者（会社・代表者）

○○○○○○○○○○

○○○○

(様式2)

提案概要 (A4・3枚)

1. プロジェクト名	○○○○○○○○プロジェクト			
2. 応募者名	名称	○○○○○○○○○○		
	代表者名	○○○○		
	住所	〒○○○-○○○○ ○○県○○市○○○○○		
	電話番号	○○○-○○○-○○○○		
3. 担当者 (連絡の窓口となる方)	会社名・部署名等	(株)○○ ○○部○○○課		
	住所	〒○○○-○○○○ ○○県○○市○○○○○		
	担当者名	○○○○		
	電話番号	○○○-○○○-○○○○	Fax 番号	○○○-○○○-○○○○
	E-mail	○○○○○@○○. ○○. jp		
4. 提案チームのメンバー (検討支援枠に係る提案に限る。 ※は必須)	技術指導者※	○○○○○○○		
	意匠設計者※	○○○○アトリエ/○○○○		
	構造設計者※	○○○○○構造設計事務所/○○○○○		
	施工者	(株)○○○工務店		
	木質材料供給者※	(株)○○○○○木材、(株)○○○○○○○○○		
	木質材料加工者	(株)○○○○○プレカット		
その他材料供給者	接合金物：(株)○○○○○○○○○			
5. 応募者に関する確認事項	・過去3カ年以内に国土交通省住宅局又は林野庁林政部所管事業補助金において、交付決定の取消に相当する理由で補助金の返還を求められたこと (□該当有 □該当無) ・暴力団又は暴力団員であること、ないしは、暴力団又は暴力団員と不適切な関係にあること (□該当有 □該当無)			
6. 対象用途	■事務所、□共同住宅			
7. 標準構法名称 (仮)	(仮)○○○○○○○○○○			
8. 標準構法の概要	全体構造システムに関するアイソメ図のほか、軸組接合部に係る詳細図等適宜参考図書を追加すること。			

9. 提案の大分類

該当する枠組に○を付けてください。その他の場合は記入して下さい。

(1) 提案する構法を以下より選択

木造ラーメン方式    木造耐力壁方式    両方式の併用

(2) 使用する各部の材料

	製材 中小断面集成材	大断面集成材	LVL	CLT	その他 記入下さい
柱	○	○			
梁	○	○			
耐力壁			○	○	
床				○	合板 ALC

1 0. 耐力要素を構成する木質材料・寸法等

耐力壁: 構造用合板張り高耐力壁(●●倍、●●●倍)

軸組(梁・柱): 耐火被覆(柱○○角、梁○○×○○○~○○○)、露出部(柱○○○角)

接合部: 梁端部: 梁受け金物、柱上下: 鋼板ビス留め柱脚金物(○○○kN 用、○○○kN 用)

(参考資料1参照)

1 1. 当該工法のオープン化の程度およびその方法

品質管理のため講習会を受講し、……………。

1 2. 川中(構造材の供給)との連携方針等

……………との連携により国産一般流通材を使用(参考資料2参照)。

1 3. 構造材及びその加工についての容易性についての説明

軸組に使用する構造材は……………とし、住宅用プレカット汎用機とプレカット CAD で可能とする。

1 4. 施工の容易性についての説明

……………を用いることにより、木造住宅施工を行ってきた一般の工務店で施工可能(参考資料3参照)。

<p>1 5. コストについての説明(将来的な目標棟数やそれに伴うコスト縮減などの目算を含む)  一般的な鉄骨造による小規模 4 階建て事務所と同等コスト(坪〇〇〇万円以下)(参考資料4参照)</p>
<p>1 6. 想定する防耐火手法  想定する規模・立地などが明確な場合は、その旨を記す。  主要構造部の柱・梁・床は、告示のメンブレン1時間耐火仕様(……………)による。</p>
<p>1 7. 想定する構造設計ルート及び構造設計のために整備が必要と思われる検討事項・整備事項  ルート 2  ……………の適用条件で、……………の緩和について検討する。</p>
<p>1 8. 想定される木部が現しとなる部分  露出部(柱〇〇〇角、梁……………、壁……………)</p>
<p>1 9. 当該標準構法の普及に関して地域性が存在する場合の説明  使用する木質材料、使用樹種、加工場など、材料および生産システムにおいて地域差が存在する場合は、その説明を行う。  例えば、ある限定した地域の生産システムを利用するのであれば、遠方まで輸送しなくてはならない場合はコスト面では不利であるが、あるエリアでは高い競争力があるなど。</p>
<p>2 0. 検討段階のものについて 2025 年度を目途とする検討スケジュール  提案内容のうち検討段階にあるものについては、現状の到達点、残された課題、今後のスケジュールについて説明を行う。</p>

(注意事項)

- 1) 参考資料も活用しながら、可能な限り具体的な内容が分かるように記載してください。
- 2) 検討段階の場合は、その旨記載してください。

(様式3)

支援が必要な検討事項一覧

プロジェクト名	〇〇〇〇〇〇〇プロジェクト
1 8—1. 支援が必要な検討事項 (その1)	
(1) 現状 (既にある程度の検討が進んでいる場合にはその内容) 現状では、.....が制約条件となっているが、.....までの検討が行われている。	
(2) 検討内容 (解析や実験等の概要、達成の難易度、必要に応じ参考図書を添付すること) .....の適用条件で、.....の緩和について検討する(参考資料5参照)。	
(3) 検討に必要な費用 (内訳を記載すること) .....に関する解析検討 〇〇〇万円	
1 8—2. 支援が必要な検討事項 (その2)	
(1) 現状 (既にある程度の検討が進んでいる場合にはその内容) 現状では、.....に用いる適切な接合部材がない。	
(2) 検討内容 (解析や実験等の概要、達成の難易度、必要に応じ参考図書を添付すること) .....に用いる適切な接合部材の開発検討を行う(参考資料6参照)。	
(3) 検討に必要な費用 (内訳を記載すること) .....に関する実験費用 〇〇〇万円	
1 8—3. 支援が必要な検討事項 (その3)	
(1) 現状 (既にある程度の検討が進んでいる場合にはその内容)	
(2) 検討内容 (解析や実験等の概要、達成の難易度、必要に応じ参考図書を添付すること)	
(3) 検討に必要な費用 (内訳を記載すること)	

(注意事項) 参考資料も活用しながら、可能な限り具体的な内容が分かるように記載してください。